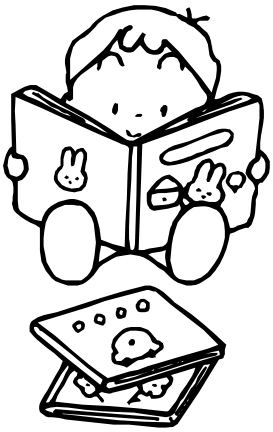
めばえ

2019. 12. 13　ひなご幼稚園園長　神戸洋美

ひいひいひいひい･･･おじいちゃん



１年は本当にあっという間、いよいよ師走に入りました。去る５日・６日に開催した遊戯会には、ご家族の皆様でご参加いただき、誠にありがとうございました。どのクラスも練習以上の成果を出し、多くの拍手・声援で盛り上げていただきました。各クラスの工夫を凝らした衣装やかわいらしい立ち姿、元気な声での台詞や歌声に、目からも耳からも楽しんでいただけたことと思います。

また鑑賞時において、会場内でのご協力にも心より感謝いたします。保護者様はもちろんのこと、ご祖父母様の嬉しそうなお顔も印象的でした。ご家族の中で温かく育まれていることを嬉しく思います。正に「命はつながっている」と私が必ず誕生会に「ひいひいひいひいひい・・・おじいちゃん」と子どもたちに話しますが、先日同じことを言ってくださる方に出会いました。

去る７日に愛知県私立幼稚園連盟 70 周年式典が名古屋市公会堂で開催されました。式典終了後に記念講演があり、絵本作家の長谷川義史氏による絵本ライブを体験したのです。参加者は幼稚園教諭ばかりなので、「いつもは皆さんが子どもたちに絵本を読んでいると思いますが、今日は僕が皆さんに絵本を読んであげるので、子どもの気持ちになって楽しんでください。」と言われ、時々ウクレレで歌もはさみながら、ご自身の絵本を映像と読み聞かせでご披露していただきました。「幼稚園いやや」という歌では、子どもの気持ちになっての歌詞で、会場内に笑い声が響きました。

実は長谷川氏のデビュー作が「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」という題で、ページを開いていくと「ひいひいひいひいひいひい・・・・・・」がいっぱい出てきて、時代をどんどん遡っていき、さらに原始時代も越えて人間の祖先のお猿さんにまで到達してしまうのです。「命のつながり」をテーマにした絵本。有名な絵本作家の方が、私の思いと同じだと知って大感激して帰りました。

絵本を読んでもらって子どもと同じ気持ちになり、絵本の読み聞かせは子どもにとって、とても楽しい時間なんだと改めて実感した次第です。ぜひ、ご家庭でも読んであげてくださいね。

サンタが街にやってくる！

もうすぐクリスマス。子どもたちは今か今かとサンタクロースが来てくれるのを待っています。クリスマスグッズは色も形もかわいくて、私もそうですがこの時期だけキリスト教になってしまう人々もワクワクしますね。

我が子が小さい頃、サンタさんに一生懸命手紙を書いていました。「ゲームが欲しい。」「〇〇ファミリーが欲しい。」でもサンタさんは全ての願いをかなえてくれるわけではありませんでした。時々、お願いしたものではないプレゼントもあったりして（予算が・・・？）

子どもたちの成長と共に「サンタさんはどうもこの家にいる人らしい？」と気付き始め、やがて真実を知る日がやってきます。その子どもたちも成長し親になって、今度は「サンタさん来るかな？」と期待される側に変わります。こうしてサンタさんも次から次へと引き継がれていくのですが、サンタさんは本当にいるのをご存知ですか？グリーンランド国際協会が１９５７年に設立され、公認サンタクロースは現在世界に１２０人いて、クリスマスに自宅で過ごすことが出来ない子どもたちのため、一足早く福祉施設や小児病棟などを訪問するそうです。我が家でクリスマスを迎えることに感謝しなければなりませんね。

全ての子どもたちの願いが叶いますように、サンタさん頑張ってくださいね！

今月のヒント！　「アンミカ流ポジティブ脳の作り方」から。

「目線を変えた瞬間、見える景色がちがってきます。」